

2025年9月1日

川西市議会議長 様

会派（呼称）名 無所属

議員名 長田拓也

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名

長田拓也

2 調査先

北海道倶知安町

3 調査期間

2025年 8月 29日

2025年 8月 29日

4 調査結果の概要

視察の目的：

北海道での無許可開発が話題となっている倶知安町、そしてニセコエリアの開発実態について、現地の状況を確認し、外国資本による乱開発の現状を確認した。

本視察は、第20回全国市議会議長会研究フォーラムに参加（8/27,28）したため、その日程に合わせて組み入れたものであり、元倶知安町議の田中義人氏に現地を案内していただいた。

印象的な内容と所見：

スキー場へ向かうメイン道路「ひらふ坂」周辺には、昔からの日本人経営の店舗も一部残っているが、少し離れると中国・香港・マレーシア・アメリカ・フランスなど外国資本の建物がほとんどであった。

また、開発が途中で放棄され、放置状態となっている橋や、舗装も難しい細い急坂の道路沿いに、造成工事を行うため、入り口部分の一部だけの道を拡幅して別荘地を建設するなど、投機目的による建設が行われていた。

ニュースにもなった異地区の違法開発では、無許可で木々を伐採し、電柱やモデルハウスまで建築している状況で、町への許可申請もないまま、大々的に進めていた現状を確認した。

これは倶知安町だけではなく、全国的な問題に波及する可能性を含んでおり、本市はリゾート地ではないものの、都市部へのアクセスが良いことから、同様の開発行為が行われないよう一層注意することや、市民への注意喚起に関する学びとなった。